



妹にはとても見えませんでした。
 母が、泣きながら頭をなでてやりました。
 ずっとなでていましたら、少し体がやわらかくなった様に横を向いたのです。
 少しづつ手から汁が出て来ました。ポタポタおちるのです。
 母が又泣いて、とん死をしたものは、身内が来ると体がやわらかくなる、
 と云うけれど本当だと云うのです。

土肥信子さんの体験記より



真琴を亡くした当座は
 女学校一、二年の生徒さんを見ることがつらく、
 人の慰めの言葉もすなおに聞けなかった私も、
 時の流れは思い出をこうして書いて見る気になり
 つたない文をつづりました。
 まこちゃんもう少し待ってね
 と心でささやきながら自分の年齢を数えている毎日です。

阿部シズ子さんの体験記より



張りつめた気持ちで
 「長女だからしつかりしなくては」と
 今日母を探して歩く毎日であった。
 思いつくと胸が痛くなる。
 夕暮れがくると、よその笑い声がきこえ、
 襖をたてかけた星の見えるあばら家で
 三人が寂しさに耐えかねて
 泣き泣きくたぶれて眠っていた。
 麦の刈り入れ、麦こぎ、馴れない畑仕事、大八車で肥運び、
 学童疎開先から九月、二人の弟帰り、
 一年余りで兄、復員、兄弟六人になったが、
 母は未だに解らず五十年経つ。

谷中スマコさんの体験記より

しまってはいけない記憶

～ 肉親を奪われて～

平成15年4月1日(火)～平成16年3月31日(水)

前期 平成15年 4月1日(火)～平成15年9月30日(火) 展示会場 情報展示コーナー

後期 平成15年10月1日(水)～平成16年3月31日(水) 開館時間 裏面参照

(展示する体験記は、前期と後期で、入れ替えます。)

入場
無料

国立広島原爆死没者追悼平和祈念館企画展

厚生年金会館、中島小学校、万代橋あたりに行く度に我が家のあった辺りを振り返り、「あの頃は父もいた。姉もいた。姪もいた。」と寂しい想いかられます。

あの原爆の時以来、広島が憂鬱な夏となったのは私ばかりではありません。多くの人達の祈りの日々が続くのです。

山本弘子さんの体験記より



万代橋

爆心地周辺



父親は我が子を案じ、居ても立ってもいられず、遠く離れた廿日市町から歩いて夕刻入市、妹の名前を連呼しながら凄まじい爆心地を中心にして探して歩きました。しかし見付からないので止むなく翌日遅く一旦帰宅しました。

そして八月八日に母親と一緒に、再度捜し求めて市女の生徒達が被爆したと見られる中心部に入って行きました。困難を極めた探索でしたが、元安川の土手の一ヶ所に来たとき、母親が直感的に、もしかしてあの辺りかも知れないと言って、その場所に両親が近づくと、本当に全くの奇跡としか言えない、不思議にも本人を発見できたのです。

永井淳一郎さんの体験記より

1945(昭和20)年8月6日、

広島市は一発の原子爆弾により、焼け野原になりました。

そこには、たくさんの「家族」が、

それぞれの生活を営んでいました。

昨日まで確かにそこにあり、今日、明日に続くはずだった

「家族」のきずなは、突然に、

そして、

無残に断ち切られたのです。

今回の企画展は、「家族」をテーマにとりあげ、

原爆で肉親を失った方々の体験記を紹介しています。

恐怖と苦痛のはてに、亡くなっていった肉親への追悼を綴ったもの。

肉親を救えなかった無念の想いと後悔を書いたもの。

体験記を通して、亡くなった人々の無念さ、

生き残った人々の苦勞、

そして平和を希求する被爆者一人ひとりの思いを

少しでも多くの方にお伝えしたいと考えています。

【開館時間】

- 4月 1日～ 7月31日…9:00～18:00
- 8月 1日～ 8月15日…8:30～19:00
- 8月16日～11月30日…8:30～18:00
- 12月 1日～ 3月31日…9:00～17:00

【休館日】年末年始(12月29日～1月2日)

【入館料】無料

【交通案内】

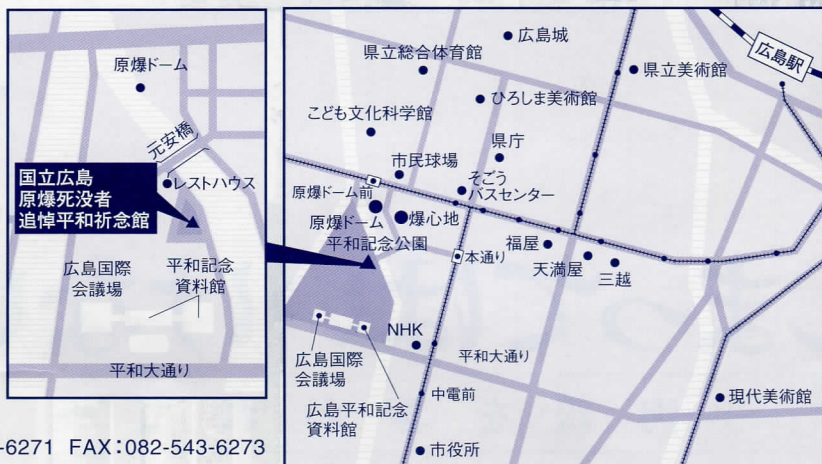
徒歩：JR広島駅(南口)から(約20分)
バス：広島バス吉島方面行で「平和記念公園」下車
市内電車：紙屋町経由広島港(宇品)行で「本通り」下車
宮島口・江波行で「原爆ドーム前」下車

【お問い合わせ先】

国立広島原爆死没者追悼平和祈念館

〒730-0811 広島市中区中島町1番6号 TEL:082-543-6271 FAX:082-543-6273

ホームページ：<http://www.hiro-tsuitokinenkan.go.jp/>



当館では、被爆体験記と原爆死没者の遺影を収集し、公開しています。
企画展では、被爆体験記を中心に、当時の写真、関連する遺品などを展示し、
原爆被害の全体像に迫ります。
被爆体験記や原爆死没者の遺影をお寄せください。
ご遺族の皆様のご協力をお願いいたします。